



水野英子

(243)



39

日本マンガ学会 第22回大会

2023年 7.1土 | 2日

主催：日本マンガ学会 共催：相模女子大学芸学部メディア情報学科
協力：相模女子大学日本学国際研究所開設準備室

場所 | 相模女子大学 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

7.1
土

研究発表・総会

会場 | 相模女子大学11号館

参加費 会員 …… 1,000円
一般 …… 2,000円
学生 …… 500円
(要学生証提示、学部生以下)

懇親会 (参加受付時申込)
会員・一般共通 …… 3,000円

7.2
日

シンポジウム

会場 | 相模女子大学3号館314教室

参加費 会員 …… 1,000円
一般 …… 2,000円
学生 …… 1,000円
(要学生証提示、学部生以下)

本イベントはマンガ学会会員でなくとも参加できます。
新型コロナウイルスの影響で、プログラムや登壇者が
変更になる場合があります。

再検討

シンポジウムテーマ

「少女マンガ」史

批評や研究においては、1960年代後半から70年代を、少女マンガがそのスタイルを確立した画期として捉える語りしがしばしば見られました。もっとも、こうした歴史観は、60年代後半以前の少女マンガの多様性や、そこからの連続性を見えにくくするものでもありました。近年では、アカデミックな研究はもちろん、作家や編集者といった当事者による語り、作品の復刻、作家特集本の刊行などを通じて、こうした従来の少女マンガ史観は捉え直されつつあります。本シンポジウムでは、研究者だけでなく、1960年代後半「以前」と「以後」、それぞれの時期を代表する作家の方々の、復刻や編集の現場で活躍する方などを招き、「少女マンガ」史を編み直すことの意義を語り合います。

第1部

「少女マンガ」を語り継ぐ

小西優里、岸田志野、卯月もよ [図書の家]
笹生那美 [マンガ家]
藤本由香里 [明治大学国際日本学部 教授]
日高利泰 [熊本大学文学部 准教授]
岩下朋世 [相模女子大学芸学部 教授] / 司会

第2部

「少女マンガ」はどこから来たの？

水野英子 [マンガ家]
ちばてつや [マンガ家 (オンライン出演)]
里中満智子 [マンガ家 (オンライン出演)]
竹宮恵子 [マンガ家・日本マンガ学会会長]
ヤマダトモコ [明治大学 米沢嘉博記念図書館 展示スタッフ]
増田のそみ [甲南女子大学文学部 教授] / 司会
大城房美 [筑紫女学園大学 教授] / 司会

7.1 土 研究発表・総会

会場 相模女子大学 11号館

12:00-12:45

参加受付

12:45

開会宣言

1115 教室

研究発表

	第1会場 1127 教室	第2会場 1126 教室	第3会場 1125 教室	第4会場 1124 教室	3号館 一階ラウンジ
13:00 13:30	吹きだし分析の コミュニケーション論的 アプローチ — 共同注意過程としてのマンガ読書 細馬宏通 [早稲田大学]	アルジェリアにおける 日本式「マンガ」創作の意義 — 市民的共感と越境性の創出 青柳悦子 [筑波大学]	マンガを描いたことがない人や絵が 苦手な人でも、マンガによる自己表現が できるワークショップの実践と考察 技能実習生の作品とアンケートから読み取れること 大西起子 [京都精華大学大学院]	コマの連続性から出現する 物語要素の分析法の提案 手塚治虫作品と 「ばいどん」の比較例 大津留香織 [台南応用科技大学]	ポスター発表揭示 マンガにおける 男性の乳首表象 — BLマンガと 格闘マンガの比較分析 高橋孝平 [早稲田大学大学院]
13:40 14:10	ボーイズラブ(BL)マンガ表紙に におけるキャラクター「声」の 感情表現の機能 アズラン ノル サキファ アイシャ [龍谷大学大学院]	慣例化したバージョン違い 日本マンガにおける 連載形式と作品の二重性 コピローウ・オーリガ [東北大学]	視覚障害者に向けたマンガの 提供フローの構築に関する研究 森重 [京都精華大学大学院]	ウェブトゥーンからページへの 漫画演出の変化 李信暎 [京都精華大学大学院]	
14:20 14:50	食マンガにおける味の表現の 歴史的変遷に関する研究 — 1970年代から80年代までの食マンガ における味の表現要素の変化を中心に リュウシントウ [京都精華大学大学院]	単行本とは何か フランスにおける 日本マンガの出版形態 ブヴァール・ジュリアン [リヨン第3大学]	「三国志演義」翻案マンガに における「光明甲」後考 清岡美津夫 [NPO三国志フォーラム]	電子書籍におけるマンガの 読まれ方と画面の表示方式に 関する研究 和田裕一 [東北大学]	
15:00 15:30	『週刊少年ジャンプ』に におけるキャラクターの 死の描写について 城垣内庸子 [一般]	ローライゼーションの観点 から見た韓国コミックスの 受容の変遷 カーロヴィチュ・ダルマ [横浜市増田まんが美術館]	戦争を題材とするカートゥーンは 戦争を風刺し得たか — ウクライナ戦争に関する作品群と 歴史の展開をもとに考える 横田吉昭 [FECCO:世界漫画家連盟]	2000年代前後の中国の月刊少女漫画 雑誌「卡通王」におけるジェンダー表現 — 中国漫画で「ジェンダー規範の越境」 はいかに描かれているのか 孫愛喬 [北京第二外国语学院]	
15:40 16:10	2000年代～2010年代の マンガ経験の分析に向けて — 自由記述式による 探索的調査から 池上賢 [拓殖大学]	2023年は「日本マンガ 100年」なのか? マンガの「起源」を再考する 陰山涼 [東京大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員DC]	少女マンガのカップルの恋愛いつまでも一緒にいられるカップル とはカップルの相互作用の数学モデル化のための基礎データを 用いた定性・定量的考察 岡崎秀晃 [湘南工科大学] 武部未慧 [湘南工科大学附属図書館] 大隅仁美 [湘南工科大学附属図書館]		

総会

1115 教室

17:00-18:00

懇親会

カフェテリア 101 会員・一般共通...3,000 円

18:00-20:00

7.2 日 シンポジウム

会場 相模女子大学 3号館 314 教室

9:30-10:30 シンポジウム参加受付

シンポジウム 再検討・「少女マンガ」史

10:30 12:30	第1部 「少女マンガ」を語り継ぐ 小西優里、岸田志野、卯月もよ [図書の家] 笹生那実 [マンガ家] 藤本由香里 [明治大学国際日本学部 教授] 日高利泰 [熊本大学文学部 准教授] 岩下朋世 [相模女子大学学芸学部 教授] / 司会
12:30 14:00	昼休み ポスター発表プレゼンテーション
14:00 16:00	第2部 「少女マンガ」はどこから来たの? 水野英子 [マンガ家] ちばてつや [マンガ家 (オンライン出演)] 里中満智子 [マンガ家 (オンライン出演)] 竹宮恵子 [マンガ家・日本マンガ学会会長] ヤマダトモコ [明治大学 米沢嘉博記念図書館 展示スタッフ] 増田のぞみ [甲南女子大学文学部 教授] / 司会 大城房美 [筑紫女学園大学 教授] / 司会
16:00	閉会式

ご案内

1114 教室

書籍販売を行います

1113 教室

ファミリー休憩室あり

会場アクセス

相模女子大学

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号



小田急線
相模大野駅より
徒歩 10 分

大会についてのお問い合わせ 日本マンガ学会事務局

東京都中野区中野 4-21-1
明治大学中野キャンパス 1426 室 宮本大人研究室 気付
mangagakkai@gmail.com
FAX 03-5343-8224 http://www.jsscc.net/

